

**1. プロジェクトのタイトル**

感染症の社会経済史的考察

－新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大への含意を念頭に－

**2. 研究者名・所属・連絡先メール**

鎮目雅人

早稲田大学政治経済学術院教授 兼 神戸大学経済経営研究所リサーチフェロー・  
masato.shizume@waseda.jp

**3. プロジェクトの目的と研究方法 (research design) の要約**

感染症の世界的な流行の事例に関する経済史研究のサーベイ：

2019 年末以降の新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的な感染拡大を受けて、過去の感染症流行への関心が高まっている。仮に病理学的に類似する感染症であっても、それぞれの時代や地域における社会のあり方によって、流行の社会的影響は大きく異なるため、過去の事例を現代に単純に当てはめることには慎重であるべきと考えられる。しかしながら、そのことは過去の歴史に学ぶことができないことを意味しない。とくに、それぞれの時代や地域における社会のあり方の違いが、感染症流行のような稀有の出来事の社会的影響にどのような違いをもたらしたのかを知ることは、現代に生きるわれわれに有益な示唆を与えてくれる。本稿では、過去における感染症の世界的な流行の事例について先行研究に基づいて概観したうえで、感染症流行の社会的影響について歴史的観点からの整理を試みるとともに、現代への含意を探る。

**4. 利用するデータの説明**

特になし

**5. 研究プロジェクトの JEL コード**

I18, N10, N30

**6. キーワード**

歴史上の感染症大流行、スペイン風邪 (Spanish Flu)、社会的隔離、グローバル化

URL: <https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/academic/ra/dp/Japanese/dp2020-J07.html>